

# ギャンブル等依存症に関する現状等について

第3回 特定複合観光施設（IR）に関する有識者懇談会

平成30年10月17日

北海道保健福祉部

# 1 北海道における現状 ①ギャンブル等依存症に関する主な支援機関

- ・ 行政機関 保健所、精神保健福祉センターを中心とした相談体制の構築
- ・ 医療機関 専門医療病院(1カ所) のほかギャンブル依存症への対応が可能な医療機関が6カ所
- ・ 回復施設 札幌市で4法人が運営(共同生活施設、グループホーム、就労継続支援施設等)
- ・ 自助グループ 3団体が活動(23会場)

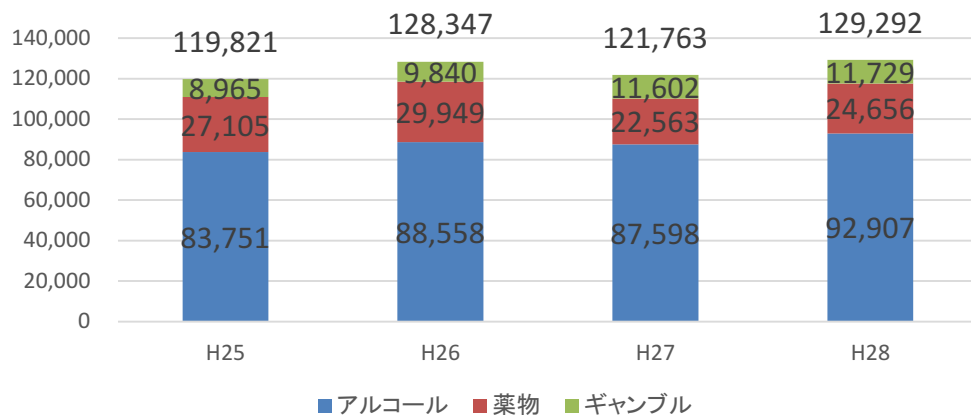
区 分		施設数等	備 考	
行政機関	北海道庁	精神保健福祉センター	1	相談対応 (来所、電話、メール)
		保健所	26	
	札幌市	精神保健福祉センター	1	
		保健所	1	
	旭川市	保健所	1	
	函館市	保健所	1	
	小樽市	保健所	1	
医療機関	専門医療機関		1	札幌市
	ギャンブル依存層への対応が可能な医療機関		6	札幌市、小樽市、音更町
回復施設	札幌マック等		4	札幌市
自助グループ	ギャマノン等3団体		23会場	札幌市、函館市、旭川市、苫小牧市など23会場

# 1 北海道における現状 ② 行政機関における相談件数の推移

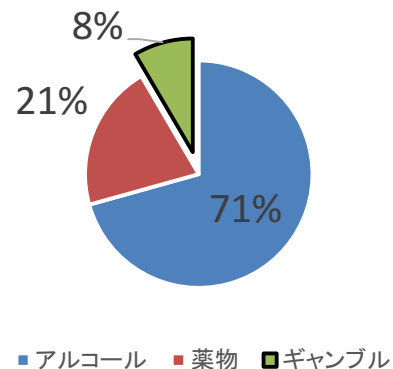
【行政機関(保健所、精神保健福祉センター、市町村)における相談件数】

- ・全国的には相談件数は横ばい。アルコールの占める割合が高い。
- ・北海道においても同様の傾向が見られるが、ギャンブルに関する相談割合が高いのが特徴。

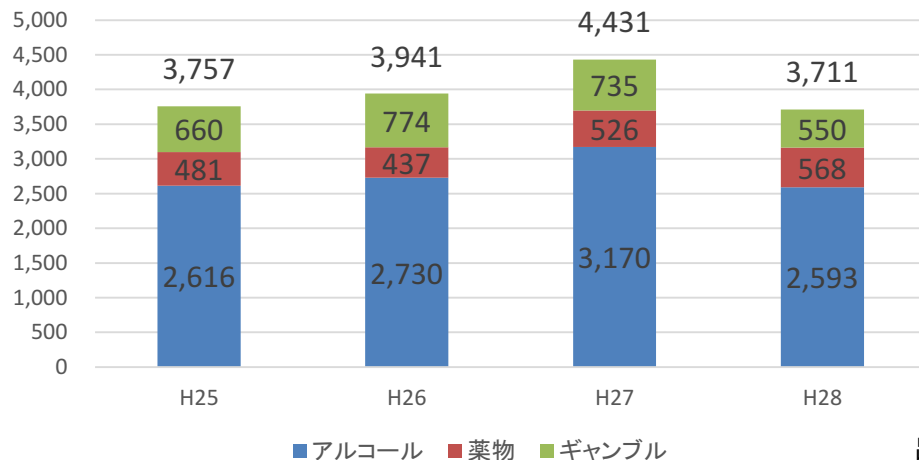
全国 相談件数推移



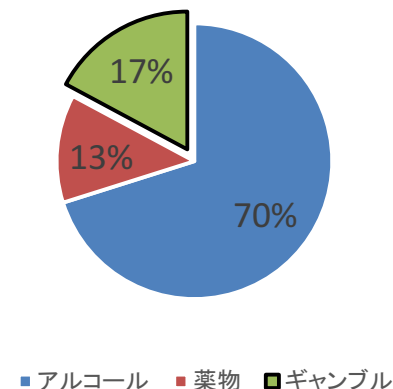
全国 相談件数構成割合(4年間累計)



北海道 相談件数の推移



北海道 相談件数構成割合(4年間累計)

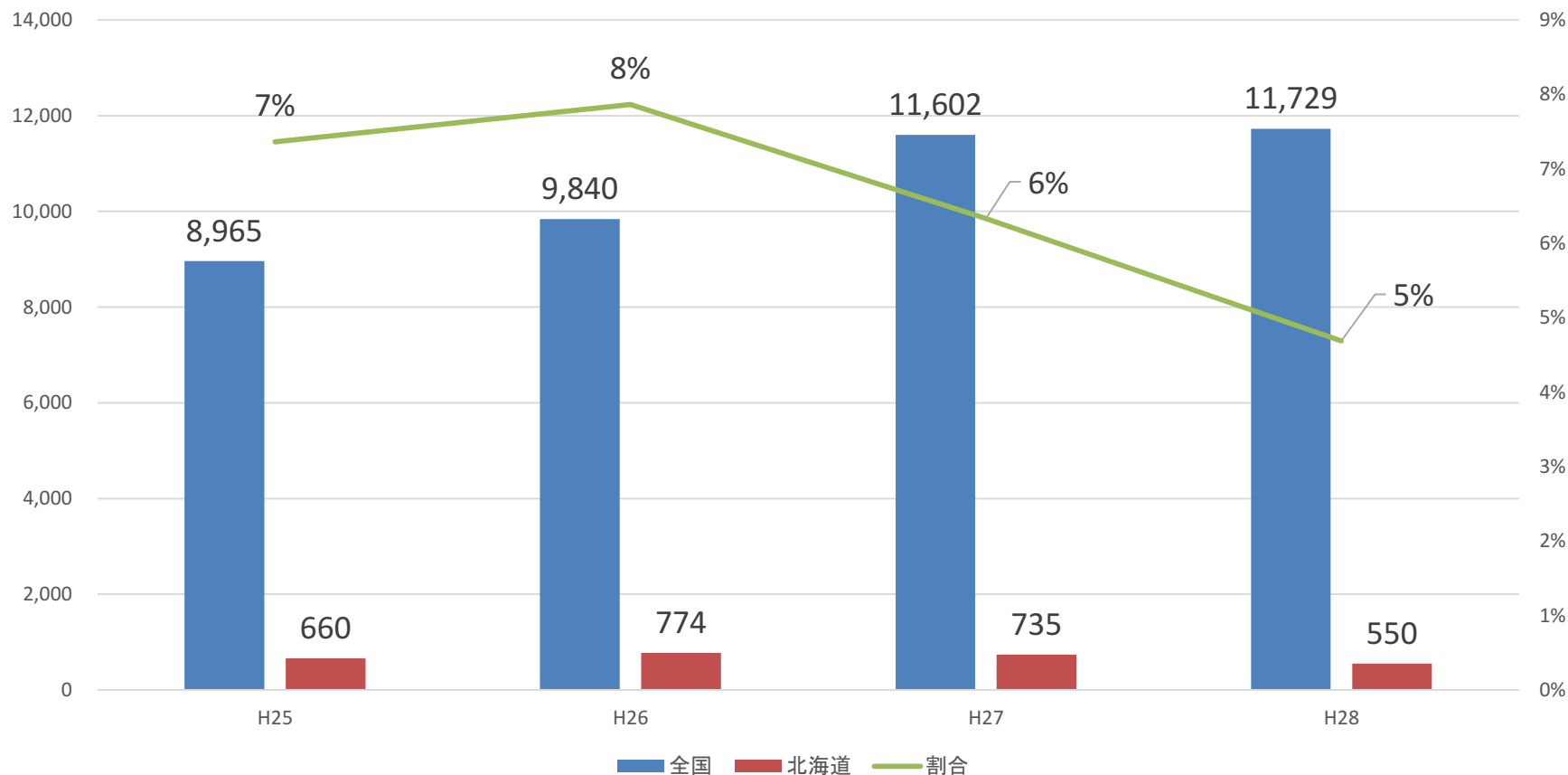


出典：地域保健・健康増進事業報告、衛生行政報告例をもとに道が作成  
相談件数：来所+電話+メールによる延べ相談

## 【ギャンブルに関する相談①】

- ・全国的には増加しているが、北海道では横ばい傾向
- ・全国に占める北海道の割合は5～8%で推移

行政機関における相談実績の推移 全国・北海道（ギャンブル）



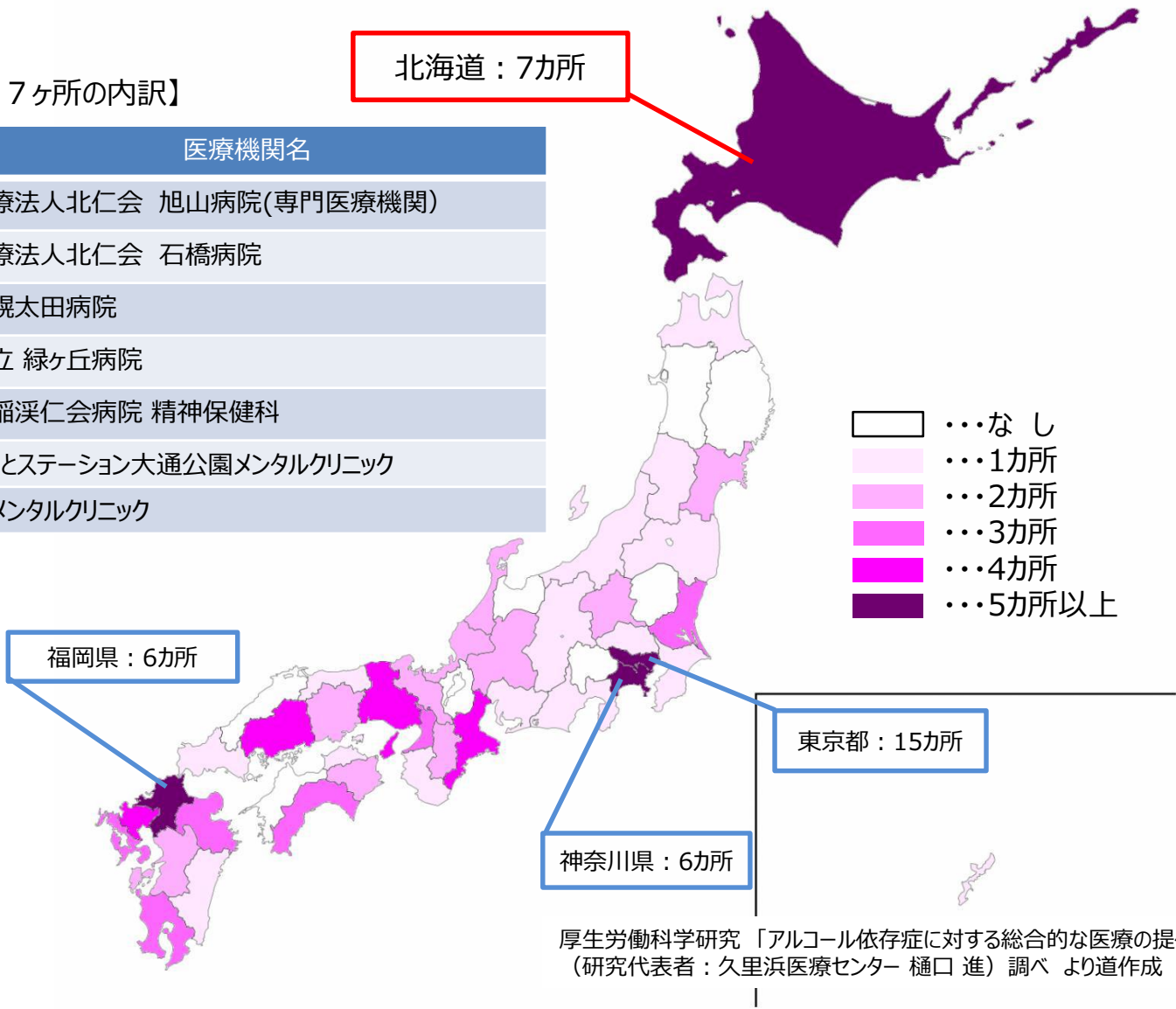
出典：地域保健・健康増進事業報告、衛生行政報告例をもとに道が作成  
相談件数：来所＋電話＋メールによる延べ相談

# 1 北海道における現状 ③ その他の支援機関

## ◆ ギャンブル等依存症に対応できる医療機関（H29.8時点）

【参考：北海道 7ヶ所の内訳】

所在地	医療機関名
札幌市	医療法人北仁会 旭山病院(専門医療機関)
小樽市	医療法人北仁会 石橋病院
札幌市	札幌太田病院
音更町	道立 緑ヶ丘病院
札幌市	手稲溪仁会病院 精神保健科
札幌市	ほっとステーション大通公園メンタルクリニック
札幌市	幹メンタルクリニック

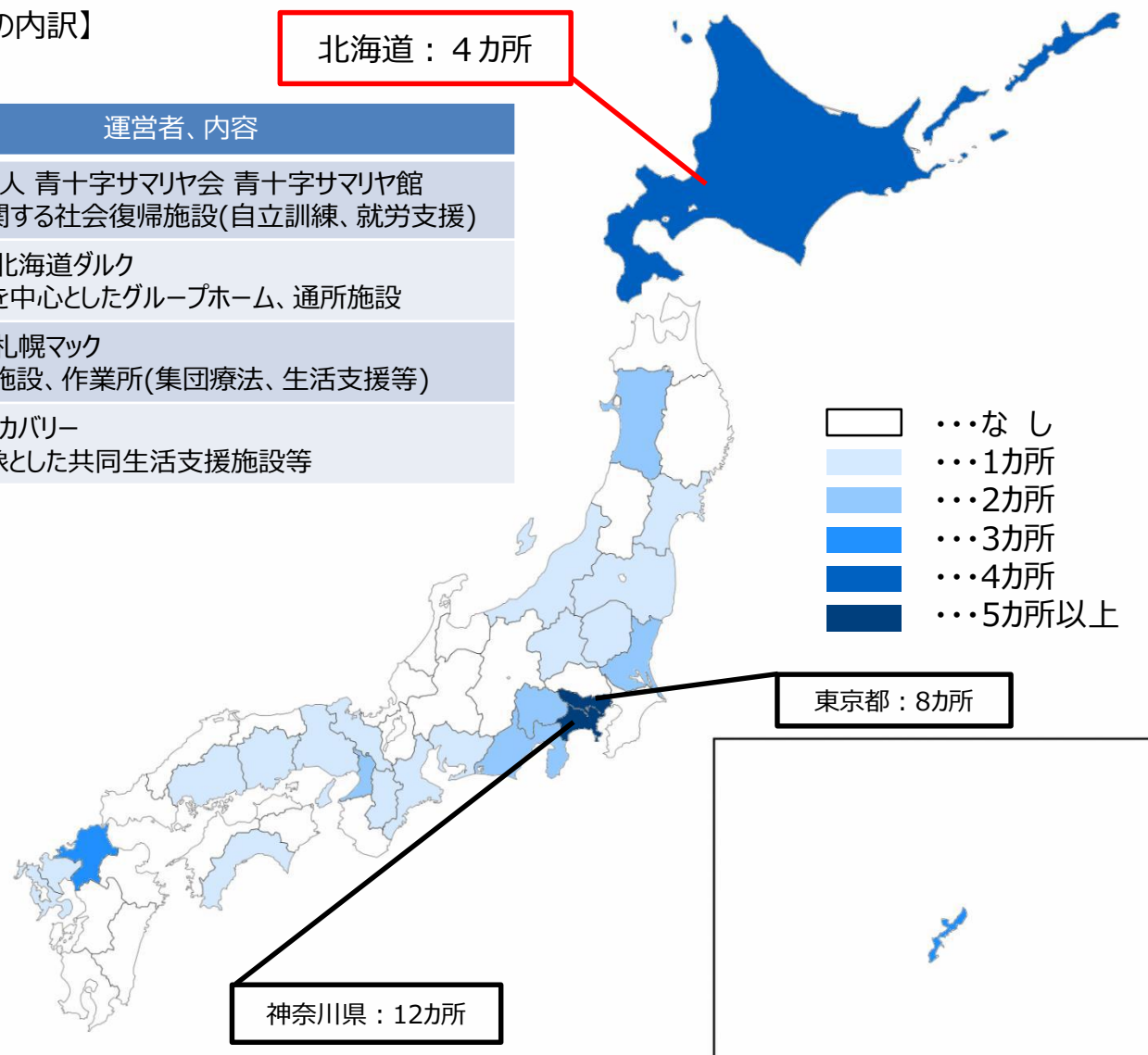


厚生労働科学研究「アルコール依存症に対する総合的な医療の提供に関する研究」  
 (研究代表者：久里浜医療センター 樋口 進) 調べ より道作成

## ◆ ギャンブル等依存症に対応できる回復施設（H29.8時点）

【参考：北海道 4ヶ所の内訳】

所在地	運営者、内容
札幌市	社会福祉法人 青十字サマリヤ会 青十字サマリヤ館 依存症に関する社会復帰施設(自立訓練、就労支援)
札幌市	NPO法人 北海道ダルク 薬物依存を中心としたグループホーム、通所施設
札幌市	NOP法人 札幌マック 社会復帰施設、作業所(集団療法、生活支援等)
札幌市	NPO法人 リカバリー 女性を対象とした共同生活支援施設等



## ◆ 自助グループ等活動状況

### ■ ギャマノン【家族のグループ】

ギャンブル等依存症の問題の影響を受けた  
家族等のための自助グループ

札幌(3) 旭川(1) 帯広(1)  
釧路(1) 滝川(1) 計7会場

### ● GA (ギャンブラーズ・アノニマス)【本人のグループ】

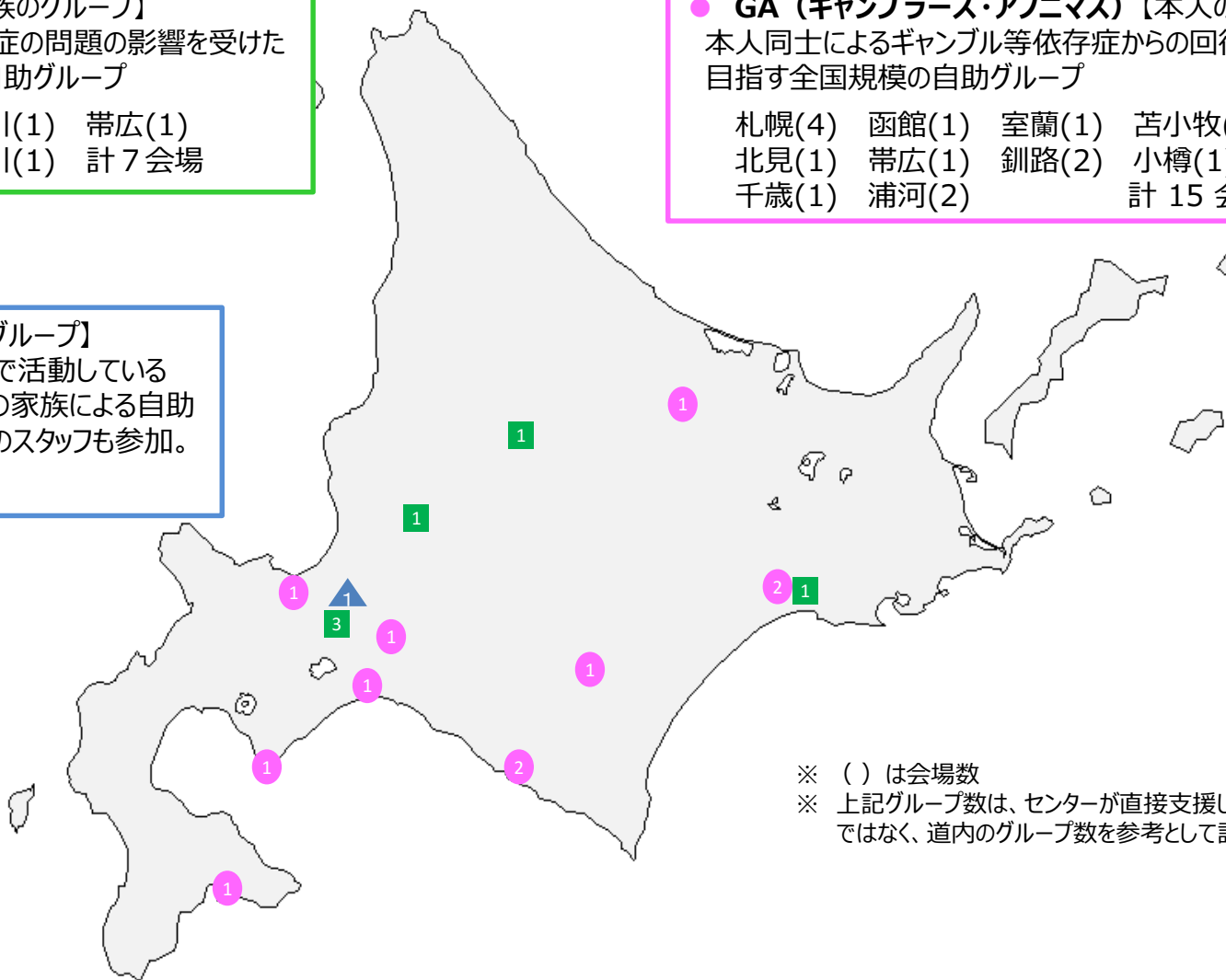
本人同士によるギャンブル等依存症からの回復を  
目指す全国規模の自助グループ

札幌(4) 函館(1) 室蘭(1) 苫小牧(1)  
北見(1) 帯広(1) 釧路(2) 小樽(1)  
千歳(1) 浦河(2) 計15会場

### ▲ カトレア会【家族のグループ】

ギャマノンと同様に札幌で活動している  
ギャンブル等依存症者の家族による自助  
グループ。精保センターのスタッフも参加。

札幌 1会場



※ ( ) は会場数

※ 上記グループ数は、センターが直接支援したグループ数  
ではなく、道内のグループ数を参考として記載

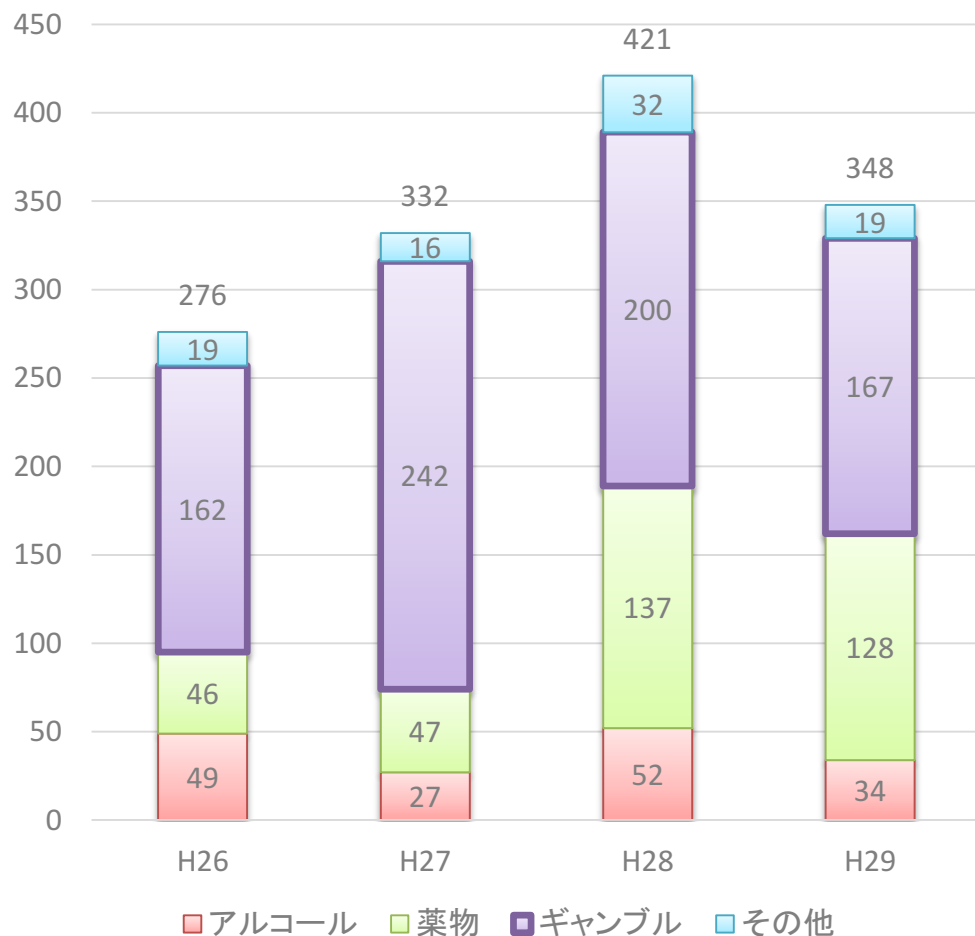
## 2 道の取組状況 ① 依存症に関する相談件数

### 1 道立精神保健福祉センターにおける支援

#### (1) 相談支援（道内1カ所[札幌市]）

保健師を家族支援員として位置付け、相談支援を実施

相談件数の推移（精神保健福祉センター）



#### (2) その他の支援状況

- ギャンブル研究会(認知行動療法を用いた治療・回復プログラム)の開催

毎月 第2,4火曜日18:30~20:00  
参加実績 H29 実人員 41人  
延人数 253人

- 自助グループ等への組織育成支援
- 依存症回復施設との連携・支援
- 保健所、市町村、医療機関等に対する技術支援、人材育成及び普及啓発

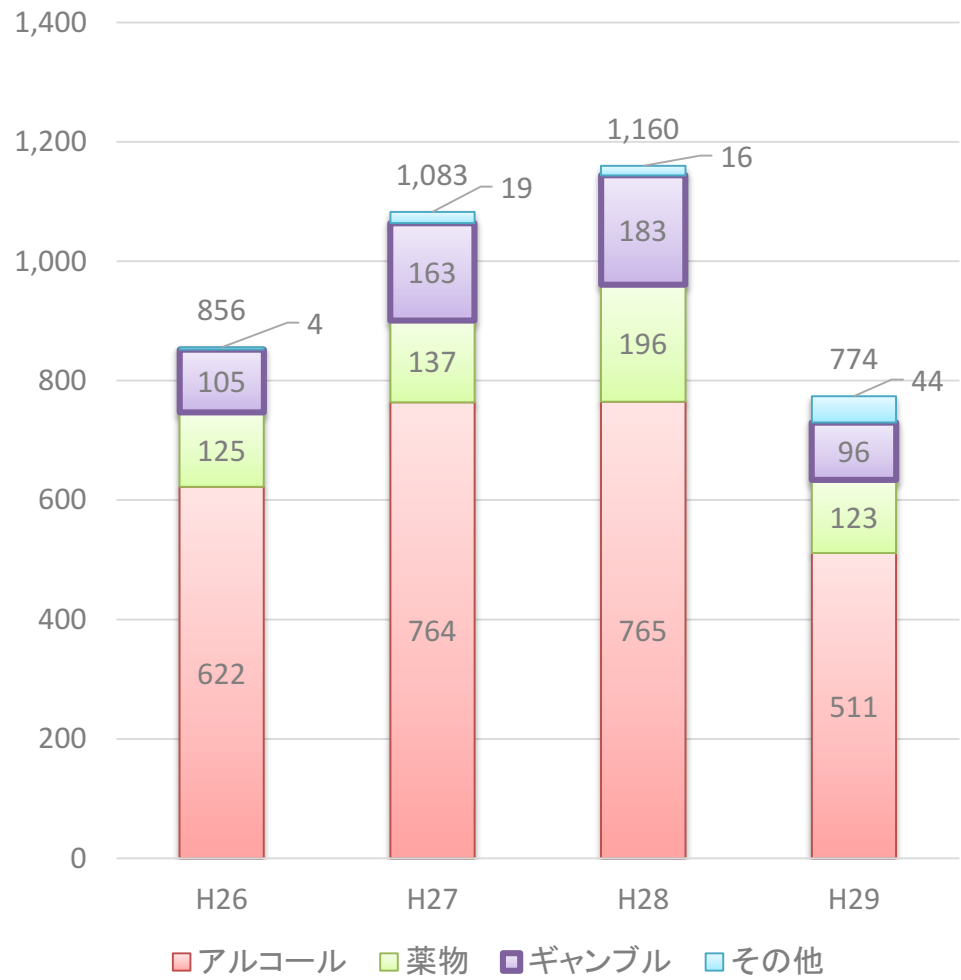


## 2 保健所における支援

### (1) 相談支援（道内26カ所）

精神保健福祉業務に従事する保健師を家族支援員として位置づけ、相談支援を実施

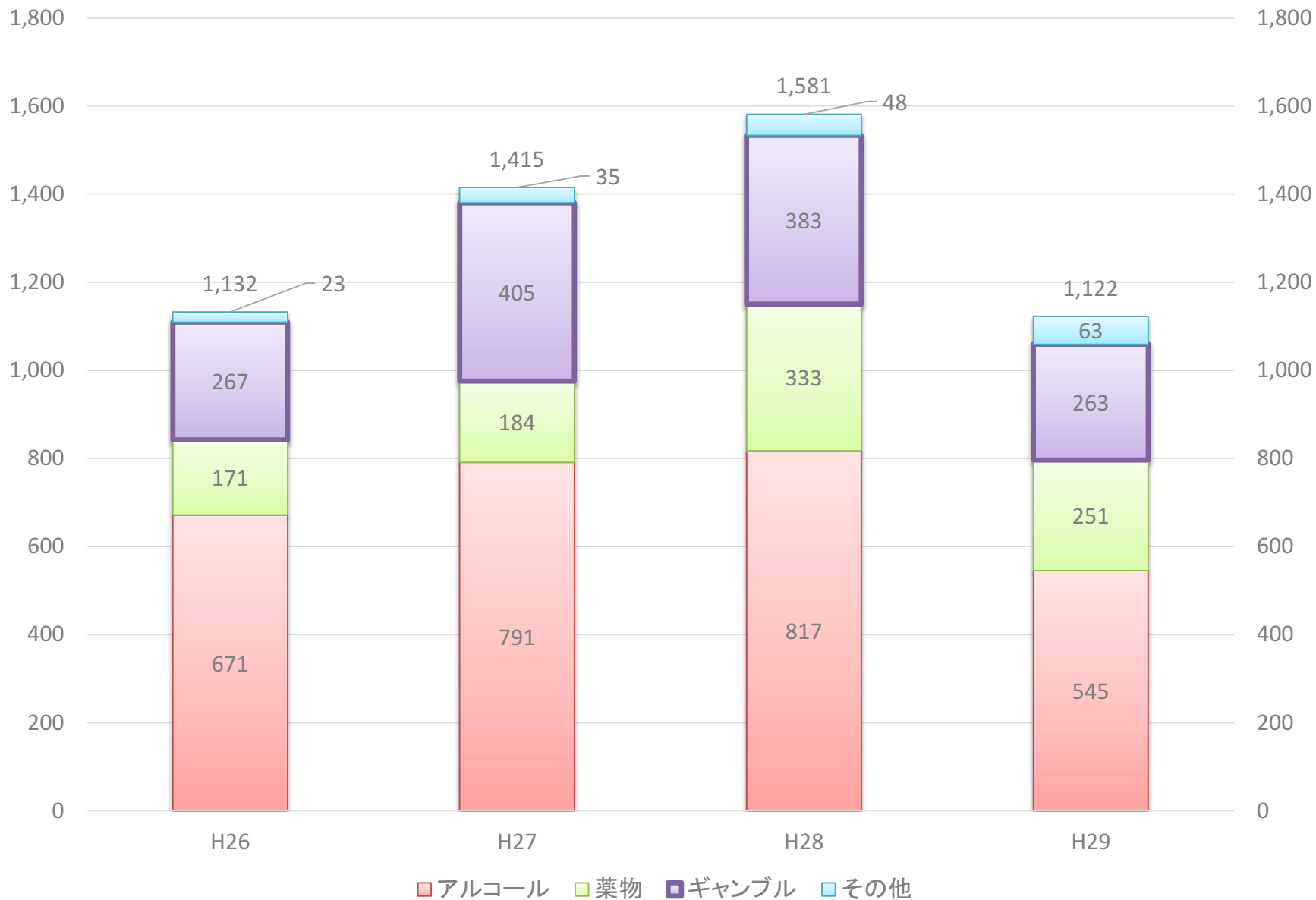
相談件数の推移（保健所）



### (2) その他の支援状況

- 市町村、関係機関など支援者に対する助言等の支援
- 当事者、家族への支援（自助グループ含む。）
- ホームページ等による普及啓発  
依存症に関する正しい知識や、相談窓口、自助グループなどの情報発信
- 地域の関係機関とのネットワーク構築  
医療機関、回復施設、保護観察所、福祉機関、自助グループ、家族会等による連携会議開催

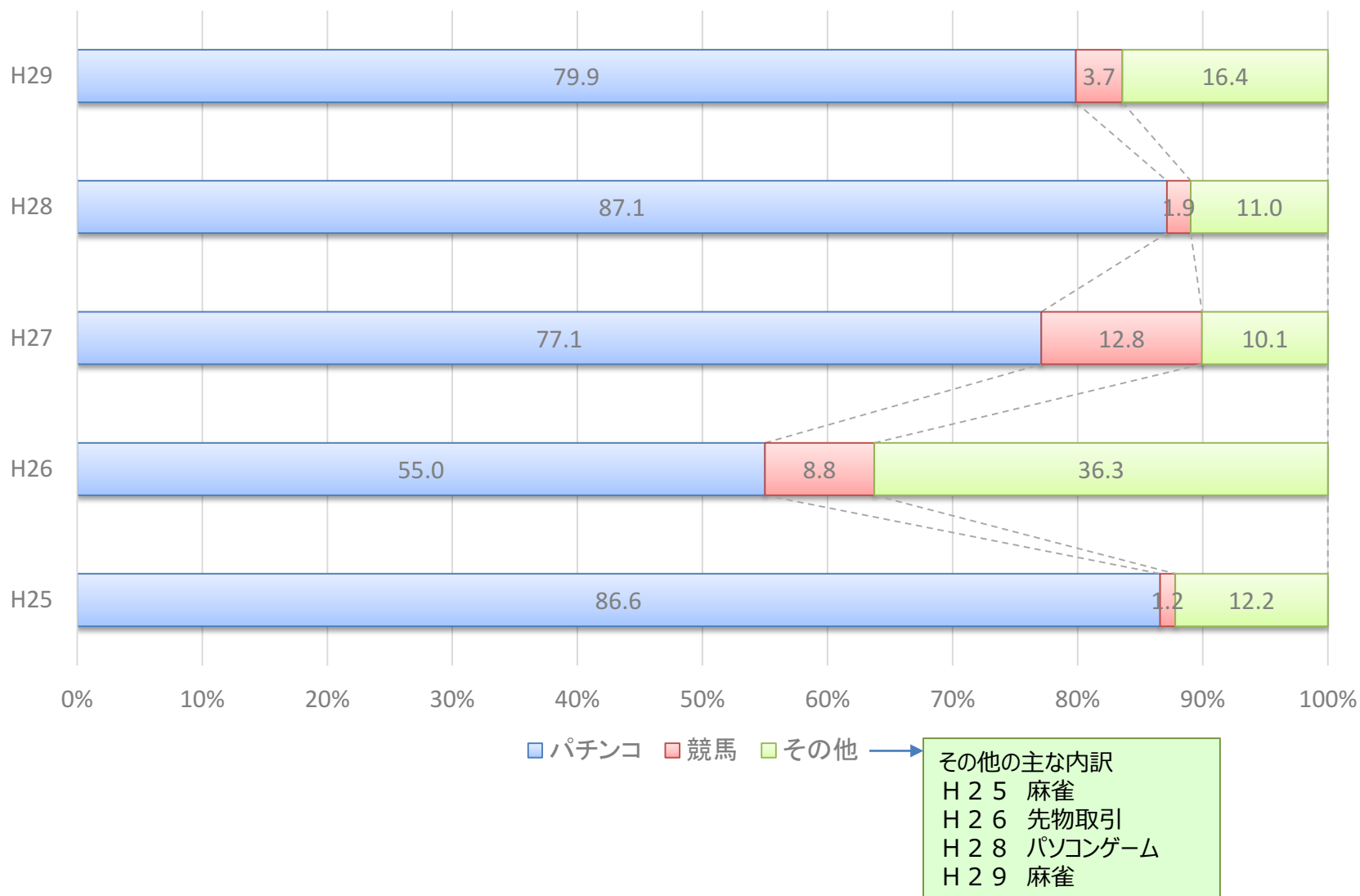
### 3 相談支援件数の推移（道立精神保健福祉センター＋道立保健所）



## 2 道の取組状況 ② ギャンブル等依存症に関する相談状況

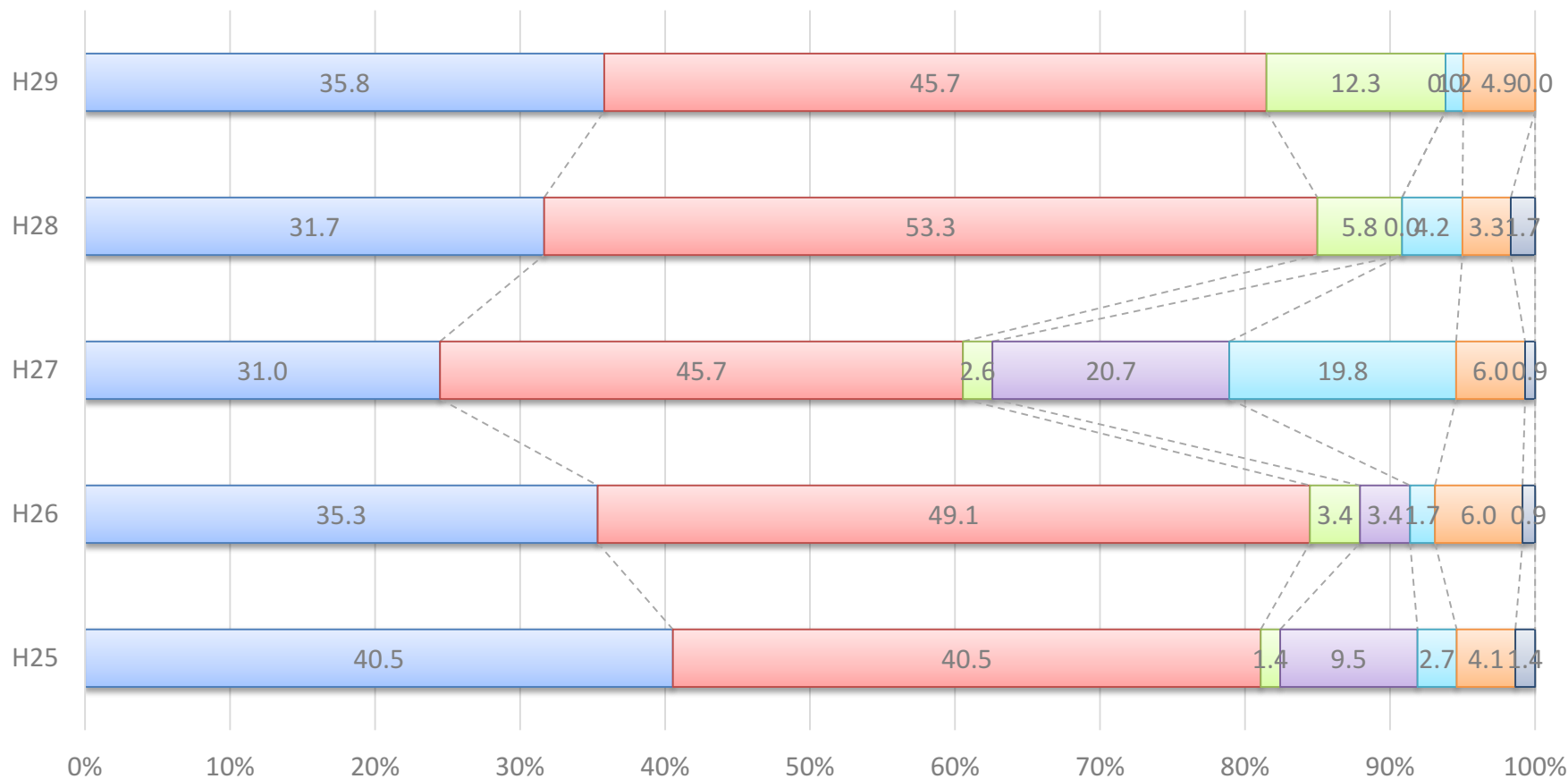
### 1 ギャンブル等種類別の内訳の推移

ギャンブル等種類別の相談件数の割合(延べ数、%)



## 2 ギャンブル等依存症相談者の内訳の推移

相談者別実人数の割合(%)

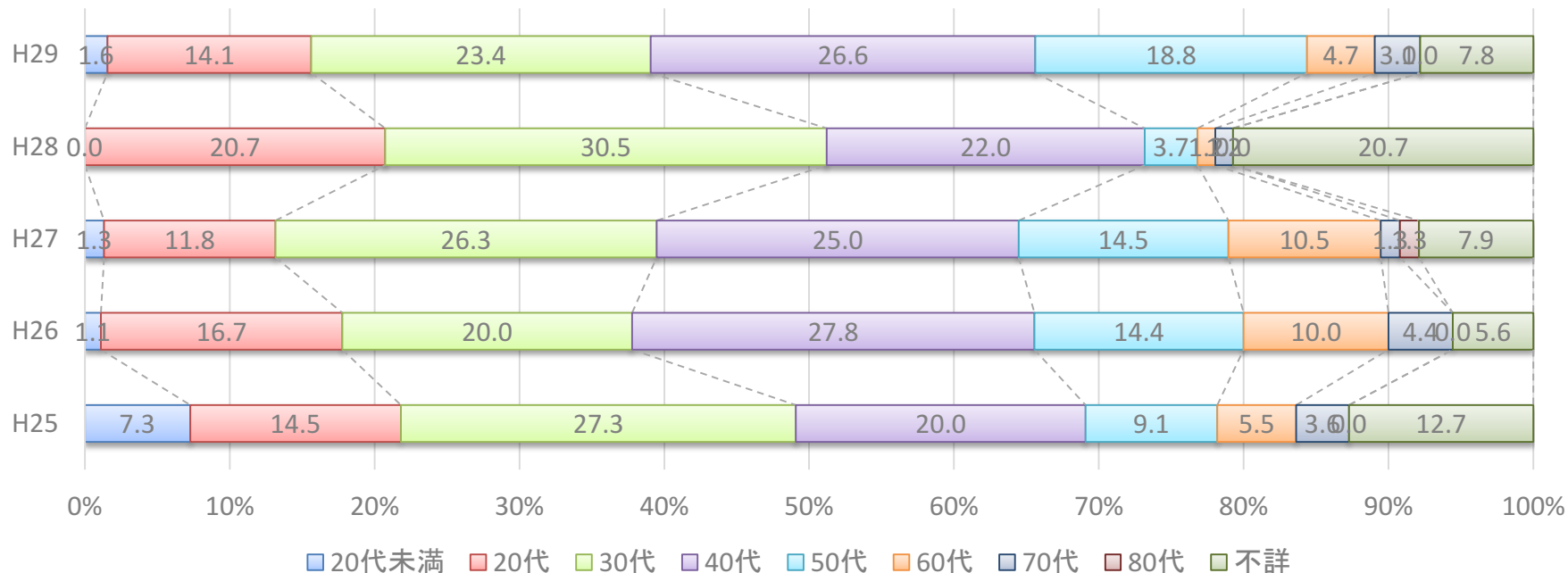


■ 本人  
■ 家族  
■ 市町村職員  
■ 医療機関関係者  
■ 相談支援機関  
■ その他

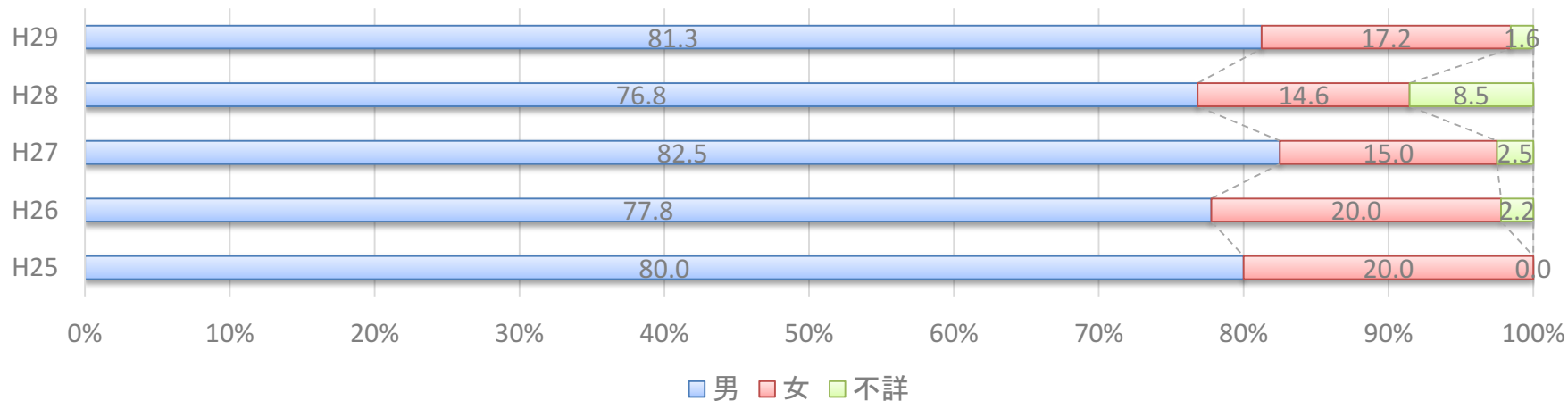
その他の主な内訳  
 H25 ケースワーカー  
 H26 遊戯事業組合職員、交際相手、弁護士  
 H27 弁護士  
 H28 警察官、保護観察官、友人  
 H29 保護司、警察官

### 3 当事者の年齢・男女別比の内訳の推移

#### 当事者の年齢別人数の割合の推移(%)

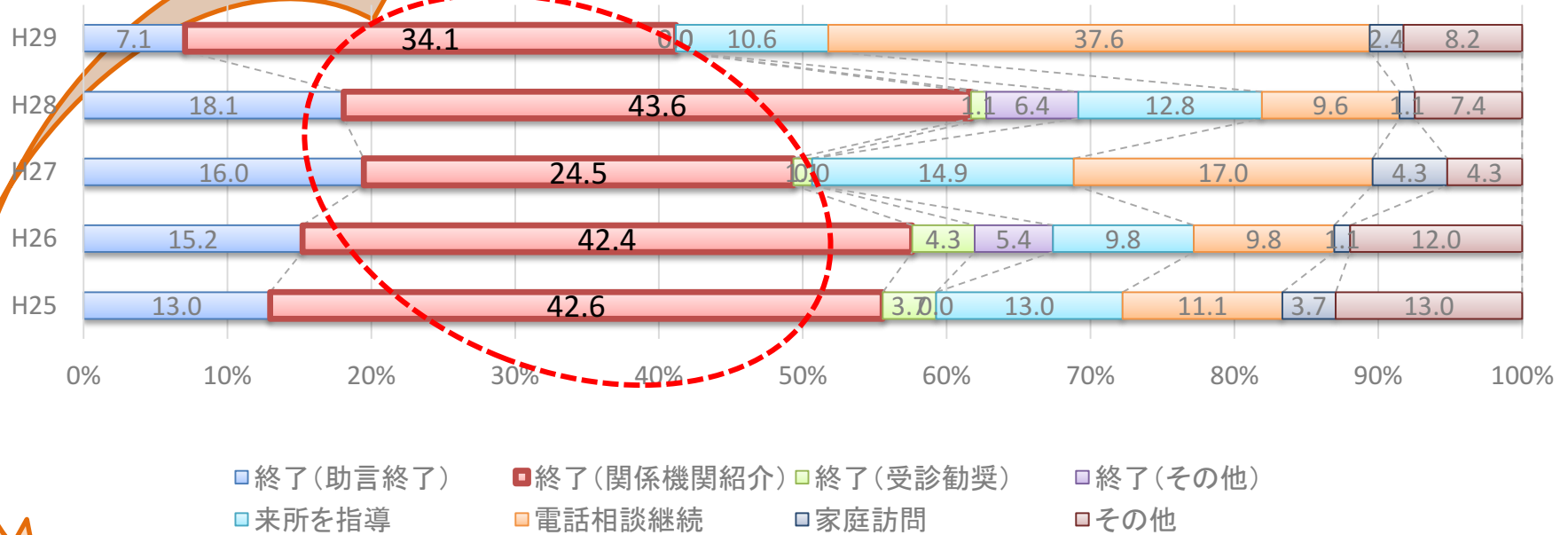


#### 当事者の男女比の推移(%)



## 4 初回相談後の転帰

### 初回相談の転帰の推移(%)



### 紹介した関係機関の内訳(%)

